

理事会	第 1 号議案
評議員会	第 1 号議案

令和 2 年度 社会福祉法人三宅町社会福祉協議会事業報告

【総務・地域福祉課】

総務地域福祉課では、近年のライフスタイルの多様化、環境の変化、地域のつながりの希薄化などの社会情勢に対し、「誰もが安全・安心に暮らせるまちづくり」を目指し、住民主体の理念に基づき、住民のニーズを聞きながら、住民やボランティア、各種団体、事業所等との連携を図って参りました。また、高齢者教室や障害者教室の委託運営や、フィットネスの運営など、地域住民の生きがいや健康づくりに対する事業も継続して行っております。

令和 2 年度は、三宅町における地域福祉活動計画の 1 年目であり、社会福祉協議会としては 4 つの重点項目である①ボランティアセンターの充実②居場所づくり③相談機能の充実④災害対策に努めてまいりました。また、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、3 密や接触機会の回避等、予定していた事業が中止や延期になる中、こんな時だからこそ人と人とのつながりが大切であるということを再認識し、事業を展開致しました。

(1) ボランティアセンターの充実

①ボランティア団体登録件数

- ボランティア登録団体・・・24 件（登録人数 232 名）
- 三宅町ボランティア連絡協議会・・・19 件
- 新規ボランティア団体登録・・・4 件（うち 3 団体が三宅町ボランティア連絡協議会加入）

②ボランティア保険加入状況・・・14団体（217名）

③ボランティア活動助成・・・2団体

④実施事業

○地域活動・ボランティア交流会（令和3年1月29日）・・・12団体15名が参加

新型コロナウイルス感染拡大のため活動自粛の中、活動再開のためのポイントの講習や、地域における活動団体の意見交換・交流の場として実施。

⑤社協によるボランティアメニュー

○畑ボランティア・・・4名登録

○あざさふれあい食堂・・・24名参加協力

（2）居場所づくり

①ふんわりサロンの実施・・・新型コロナウイルス感染拡大のため休止

②夏休み子供教室・・・新型コロナウイルス感染拡大のため中止

③三宅町特産品生産協力事業・・・生きがいや居場所づくりのため、三宅町特産品である里芋・金ゴマづくりへの協力。

○登録者・・・4名

○活動（4～12月）・・・6回延べ15名参加（新型コロナウイルスのため、9月まで参加自粛）

④あざさふれあい食堂・・・令和3年3月31日実施。新型コロナウイルスのため、赤飯の無料配布と、地域から寄せられた寄付の配布事業に変更

○申込者数・・・116名（男性42名・女性74名）

○ボランティア数・・・24名

○寄付数・・・7名＋2団体

⑤奈良県子どもの「心と学び」サポート事業（三宅町の名称「ここあ（COCO）」）（奈良県社会福祉協議会との連携事業）
生活困窮や家庭環境等により、何らかの暮らしにくさを抱えた児童に対する居場所づくりと学習支援事業

○参加児童・・・1名

○実施回数・・・16回

⑥みやけフィットネス オアシスの運営

○会員数・・・定期（月）及び年間会員数70名（町内会員52名／町外会員18名） ※令和3年3月利用時点

○1日の平均利用者数・・・39.52名（平日が多く、土日祝は少ない傾向）

（3）相談機能の充実

①生活福祉資金貸付事業（奈良県社会福祉協議会との連携事業）

低所得者、障害者又は高齢者に対し、貸付と必要な相談支援を行い、経済的自立及び生活意欲の助長と在宅福祉及び社会参加の促進を図る事業

○4件（緊急小口資金3件・教育支度資金1件）

②生活福祉資金特例貸付事業（奈良県社会福祉協議会との連携事業）

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、収入が減少した家庭を支援し、生活の立て直しのための安定した資金の貸付を行う事業

○162件（64,500,000円）

③奈良県フードレスキュー事業（奈良県社会福祉協議会との連携事業）

喫緊の生活に困窮している相談者へ、生活していくための最低限の食糧支援を行い、安定した相談活動に繋げる事業

○7件（4世帯）

④日常生活自立支援事業（奈良県社会福祉協議会との連携事業）

認知症や精神障害などにより、日常生活を営むのに支障のある者に対し、福祉サービス利用に関する相談や、適切なサービスの利用のための一連の援助を一体的に行う

○契約件数・・・4件

○支援回数・・・51回

⑤総合相談事業（心配ごと相談）の実施・・・人権擁護委員及び行政相談委員による相談会の実施

○実施回数・・・8回（4月～7月は新型コロナウイルス感染拡大のため中止）

(4) 災害対策

①災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施・・・令和2年9月10日

○参加人数・・・34名（三宅町社協職員：13名、町役場職員：4名、その他：17名）

※ その他の事業

①広報・情報提供活動

○社協だよりの発行・・・奇数月にみやけ広報に折込を行い年間6回の発行

○ホームページの運営・・・お知らせや事業案内、報告などを随時更新

②善意銀行の運営

○一般寄付・・・1件（10,000円）

○物品寄付・・・1件（もち米）

③受託事業

○高齢者の生きがいと健康づくり推進事業

・教室数・・・9教室

・延べ参加人数・・・174名

○障害者文化交流事業

・教室数・・・2教室

・延べ参加人数・・・12名

○生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーター）

・事業説明時に各自治会長に訪問し、地域における困りごとの聞き取り（10地区）

・包括支援センターの行う「みんなの保健室」に同行：8件

・地域ケア会議に参加し、ケースや事例の積み重ね：8件

・コロナ禍による「ますます健康体操DVD」の配布：44件

・その他、老人クラブやボランティア関係の会議の参加等：11件

○三宅町保健福祉施設「あざさ苑」受託事業

- ・あざさ苑の運営及び管理業務
- ・七夕イベント・・・7月7日～7月15日にかけて、あざさ苑にて願いの短冊を設置

○コロナ関連事業受託（三宅町より受託）

- ・大学生・専門学生等無利子貸付事業（令和2年度前期分の学費の貸付）・・・2件（900,000円）
- ・妊婦などへの生活支援サービス事業（買い物代行事業）・・・0件
- ・生活支援サービス事業（感染者及び濃厚接触者に対する買い物代行事業）・・・0件

④赤い羽根共同募金運動の実施（10月～12月）

⑤日本赤十字社の活動支援

⑥福祉関係団体の活動支援

○小地域ネットワーク活動団体・・・5団体（伴堂・東屏風・但馬・上但馬・石見地区）

○関係団体事務局・・・4団体（町老人クラブ連合会、町ボランティア連絡協議会、町遺族会、町母子寡婦福祉会）

○磯城郡社会福祉協議会への参画・・・令和2年10月12日に磯城郡福祉功労者表彰式を実施

三宅町より3団体5名の方が受賞

○磯城郡自立支援協議会への参画・・・郡域における行政・福祉事業所・当事者団体で構成される協議会への参画

⑦安全安心なまちづくりのための支援事業・・・三宅小学校へ新1年生への防犯ブザー35個を贈呈

⑧在宅生活支援事業（福祉機器貸出事業）・・・車椅子の貸出（21回）、麻雀卓（5回）、非接触温度計（1回）

⑨福祉車両貸出事業・・・0回

⑩研修会参加・・・16回（県内社協連絡会議、災害研修、権利擁護研修、ボランティア研究集会、社協職員研修、コミュニティソーシャルワーカー研修全4回、市町村災害ボランティアセンター設置運営訓練、共同募金運動事前研修、安全運転管理者講習、アズママ講習会）

以上